



もがみ 仕事の魅力通信

2023
Vol. 3
7月



「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取り組みをお知らせする通信です。



6月7日、新庄市雪の里情報館にて、今年度第1回目のオールもがみ若者定着・人材確保推進会議を開催しました。最上地域の経済界や教育関係者、行政機関など45名の方々にご参加いただきました。会議では、菅原最上総合支庁長が最上管内における新規高卒者の県内就職率に触れ、事務局から「オールもがみ」の主な取り組みについて説明しました。また、若者の地元定着のみならず、進学等で最上地域を離れた子どもたちがいかに「最上地域に戻りたい」、「最上地域で働きたい」と考えてもらえるか、その時にいかに地元に戻ってきてもらえるか、そういった「帰郷」の視点も強化しながら、取り組みを進めていくこと等を関係者で共有しました。

● 取組事例の発表



「医療・介護人材の確保に向けた取組み」

最上総合支庁保健企画課 杉山 秀喜 課長補佐

- ✓ 医師・看護師・介護福祉士等の仕事に関心を持ち、理解を深めてもらう講話や体験学習
- ✓ 医療従事者等と高校生との座談会
- ✓ 病院施設等、医療現場見学会
- ✓ インターンシップに参加するための交通費、旅費の支援



● 高校生 意識調査について

令和4年度に実施した「高校生の就学・就業に関する意識調査結果」から、進路決定について家族、高校の先生など身近な大人の関わりが重要で、企業等の魅力的な情報発信が必要である等の報告がありました。また、地元就職の意識については、高校・大学におけるインターンシップやウェブサイトの充実など企業との接点を増やしていくことや、楽しく働ける職場環境づくりが重要であると考えます。



「山形大学の学生を対象としたインターンシップの実践」

山形航空電子(株)総務部課長 高橋 秀哉 氏

活用いただいたガイドブック



- ✓ 「オールもがみインターンシップガイドブック」の活用で、学生の採用だけでなく、社員の成長につながる。
- ✓ 受入れる際、パーパス(目的、目標)を示し、インターンシップ終了後もフォローアップをきちんとすることで、新たな気づきも多かった。
- ✓ 学生からの質問や意見を通して、企業の存在意義を伝える。
- ✓ 学生のニーズに応え、感想や意見を聞く側も若手社員にし、話しやすい環境をつくる。など、企業の対応に役立つお話をお聞きすることができました。

【問い合わせ先】 発行日：令和5年7月

山形県最上総合支庁 地域産業経済課 産業振興担当

☎ 0233-29-1309 ☎ 0233-23-2628

✉ ymogamisangyo@pref.yamagata.jp

新庄・最上の

くらしとしごと

サイトにアクセスすると
インターンシップで使えるシートがダウンロードできます。
是非、確認してみてください!

